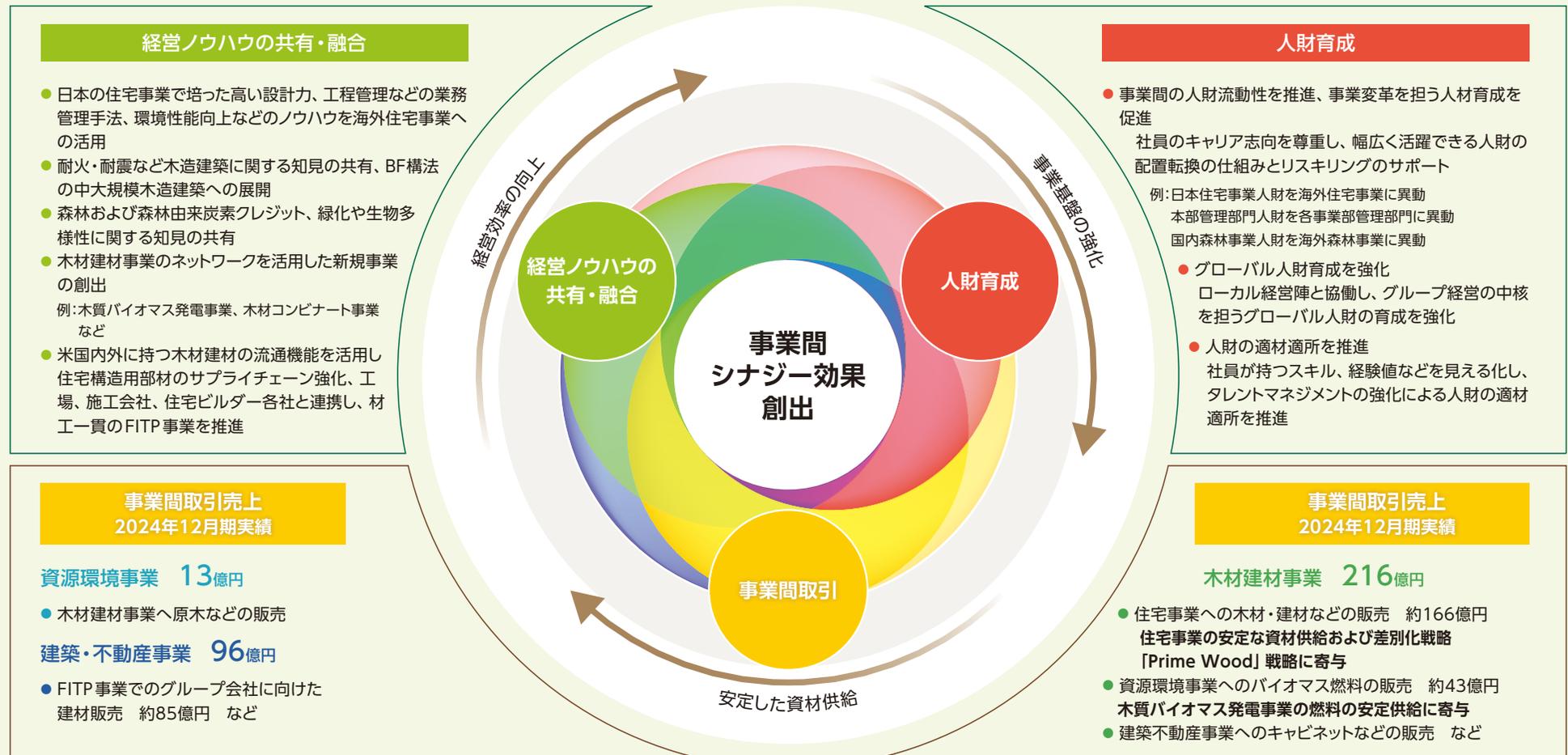




「ウッドサイクル」を深化させ、事業間シナジー効果によるさらなる成長へ

住友林業グループは、木に関する技術やノウハウに加え、お客様とのつながりや国内外のネットワーク、培ってきた住宅ブランド力といった独自の強みを活かし、グループ全体で経営資源を有機的に連携させています。日本と海外で住宅事業を担う人財が相互に活躍するなど、事業を超えた経営ノウハウの共有と人財育成により、シナジーを生み出し、さらなる成長を目指しています。





「ウッドサイクル」で社会の脱炭素化とネイチャーポジティブの実現へ

世界規模で異常気象が発生し、大規模な自然災害が増加するなど、地球温暖化をはじめとする環境問題への対応は人類共通の課題です。住友林業グループは、再生可能な自然資本である「木」を軸としたバリューチェーンである「ウッドサイクル」を回し、「森林」「木材」「建築」の各分野でCO₂吸収・炭素固定量を増やし、脱炭素社会の構築およびネイチャーポジティブの実現に貢献しています。また、他材料から「木」への代替促進（ウッドチェンジ）を通じ、都市の木造建築を増やし、木造建築による長期間の炭素固定によって脱炭素社会の構築に寄与することに加え、街を森にかえることで、社会全体のウェルビーイングの向上につなげていきます。

社会課題



- 地球温暖化
- 異常気象
- 生物多様性の喪失と生態系の崩壊
- 森林劣化&減少
- 天然資源不足
- 環境汚染
- 感染症の広がり

持続可能な社会の構築に向けた動向



- PRI 発足
- SDGs 採択
- パリ協定合意
- 排出量取引制度 (ETS) や炭素税導入
- TCFD 情報開示&義務化
- TNFD 情報開示

森林・木材への注目



- 森林による温室効果ガスの吸収および貯蔵
- 森林再生 (REDD+)
- HWP (Harvested Wood Products) の炭素量の変化を評価
- 森林環境税導入
- 都市の木造化推進法
- 木質化によるウェルビーイング効果



街を森にかえるイメージ図
当社筑波研究所作成